

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】 特開 2004-144752 (P2004-144752A)
 【公開日】 平成 16 年 5 月 20 日 (2004.5.20)
 【年通号数】 公開・登録公報 2004-019
 【出願番号】 特願 2003-360379 (P2003-360379)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)
C 1 2 M 1/00 (2006.01)
G 0 1 N 33/566 (2006.01)
G 0 1 N 37/00 (2006.01)
C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 M
 C 1 2 M 1/00 A
 G 0 1 N 33/566
 G 0 1 N 37/00 1 0 2
 C 1 2 N 15/00 F

【手続補正書】
 【提出日】 平成 18 年 10 月 18 日 (2006.10.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

基体の表面に対し異なるアレイ特徴でもって結合された多数のプロープのアレイを製造する方法であって、前記基体が金属層を含むものにおいて、前記方法が、

(a) 前記表面に官能基が配置されてなる前記基体を設け、

(b) 前記表面を、前記表面に配置された官能基との反応後にリンカー分子を前記表面に結合させる基を各々に有するリンカー分子と接触させ、前記反応が前記金属層を攻撃する反応物質を生成せず、及び

(c) 前記表面をプロープ又はプロープ前駆体と接触させて、前記プロープ又はプロープ前駆体を前記表面に結合されたリンカー分子と結合し、前記アレイを生成することからなる方法。

【請求項 2】
 前記反応が酸を生成しない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】
 基体の表面に対し異なるアレイ特徴でもって結合された多数のプロープのアレイを製造する方法であって、前記基体が金属層を含むものにおいて、前記方法が、

(a) 前記表面にヒドロキシル基が配置されてなる前記基体を設け、

(b) 前記表面を、前記表面に配置されたヒドロキシル基との反応後にエーテル結合を介してリンカー分子を前記表面に結合させるシリルオキシ基を各々に有するリンカー分子と接触させ、及び

(c) 前記表面をプロープ又はプロープ前駆体と接触させて、前記プロープ又はプロープ前駆体を前記表面に結合されたリンカー分子と結合し、前記アレイを生成することから

なる方法。